

りんご・なし・ ぶどう・きゅうりの 浸透移行性 混合殺菌剤



アリエッティ[®] 水和剤



製品情報はこちら





2つの成分による相乗効果

●浸透性殺菌剤ホセチルと保護殺菌剤キャプタンが、二段構えの相乗効果を発揮します。

ユニークな作用性

- ホセチルは直接的な殺菌作用と、間接的な抵抗性誘導作用により効果を発揮します。
- キャプタンは病原菌に含まれる酵素を多岐にわたり阻害し、効果を発揮します。

耐性菌の心配が少ない薬剤

●作物の自己防衛反応を強化するホセチルの抵抗性誘導作用と作用点が多岐にわたるキャプタンの混合剤なので、耐性菌出現の可能性はほとんどありません。

適用病害および使用方法

2023年7月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数*			使用方法
					本剤	キャプタン	ホセチル	
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 すす点病 すす斑病 炭疽病 褐斑病	800倍	200～700ℓ /10a	収穫前日まで	3回	6回	3回	散布
	おうとう			褐色せん孔病	2回	5回	2回	
なし	黒斑病 輪紋病	400～800倍	200～700ℓ /10a	収穫14日前まで	3回	9回		
	ぶどう			べと病 黒とう病	400～600倍	収穫30日前まで	3回	
きゅうり		べと病 褐斑病	400～800倍	100～300ℓ /10a				

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項(使用上の留意事項を含む)



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。
- 本剤使用の際は展着剤を加用すると効果的です。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液、無機銅剤、葉面散布肥料との混用はさけて下さい。
- なしに使用する場合、開花初めから落花20日頃までの散布は新葉に薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。
- ぶどうに使用する場合、幼果期から果実肥大期には薬害を生じやすいので、高濃度散布や重複散布、他剤との混用および展着剤の加用はさけて下さい。
- きゅうりに使用する場合、無機銅剤との近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。
- おうとうに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、5月下旬以降の散布には固着性の強い展着剤は加用しないで下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- ☆フロアブル剤と混用する場合、必ずフロアブル剤を最初に所定濃度に希釈してからアリエッティC水和剤を最後に加えて下さい。
- 誤飲、誤食などのないよう注意して下さい。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。

- 散布の際は農業用マスク、手袋、不透水性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけて下さい。
- 夏期高温時の使用をさけて下さい。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は、水産動物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収して下さい。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めて下さい。
- 移送取扱いは、丁寧に行ってください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00,13:00～17:00
 土日祝日および会社休日を除く

F-2020 23.07.NY